



## TJCAS - 2019 参加報告書

群馬大学大学院 理工学府 理工学専攻  
電子情報・数理教育プログラム  
小林研究室 修士2年 魏 江林

### 学会名称：

2019 Taiwan and Japan Conference on Circuits and Systems (TJCAS - 2019)

### 開催日：

Aug. 19 ~ Aug. 21, 2019

### 開催場所：

Aug. 19 : Rinno-ji Temples “Shiunkaku” (図.1)

Aug. 20 ~ Aug. 21 : Nikko Toshogu Shrine “Kyakuden” (図.2)



図 1. Rinno-ji Temples “Shiunkaku”



図.2 Nikko Toshogu Shrine “Kyakuden”

### 発表ポスター：

“Algorithm for  $\Delta \Sigma$  ADC Linearity Test in Short Time”

Jiang-Lin Wei, Nene Kushita, Takahiro Arai, Lei Sha, Anna Kuwana, Haruo Kobayashi, Takayuki Nakatani, Kazumi Hatayama (Gunma Univ.). Keno Sato, Takashi Ishida, Toshiyuki Okamoto, Tamotsu Ichikawa (ROHM Semiconductor Co., Ltd.)



### TJCAS について：

TJCAS 会議は、台湾と日本での電子回路およびシステムに関する最新の研究と結果の意見交換の場を提供する。本会議は、全体会議とポスターセッションがある。ポスターセッションでは学生による発表も多い。

### 学会参加報告：

今回、私の Boss(Haruo Kobayashi) (図.3) は General chair として学会を開催した。だから、私は学会運営と発表を兼ねて参加した。参加者は主に日本と台湾から 180 人ぐらい。私は三日目のセッション“3B ADC / Testing”にてポスターを発表した(図.4)。発表のとき、日本人の方に会ったら、日本語で説明した。台湾の人に会ったら、中国語で説明した。今回は、英語をあまり使っていなかった。だから、交流するにあたって言葉の問題はなかった。でも、英語の重要性は認識しており、もっと勉強するほうが良いと思う。口頭発表よりポスター発表は何回も発表し、忙しいし、疲れた。参加者から一番多く質問されたのは、入力信号が小さいと、なぜ、推定誤差が大きいと言った内容であった。この問題はローム社と打ち合わせのとき、佐藤さんに相談した。そして、原因と対策方法を見つけた。無事最後まで今回の発表することができた。今回の発表の経験を積んだので、今度の国際学会発表の基礎を築いたと思う。



図.3 私の Boss(Haruo kobayashi)



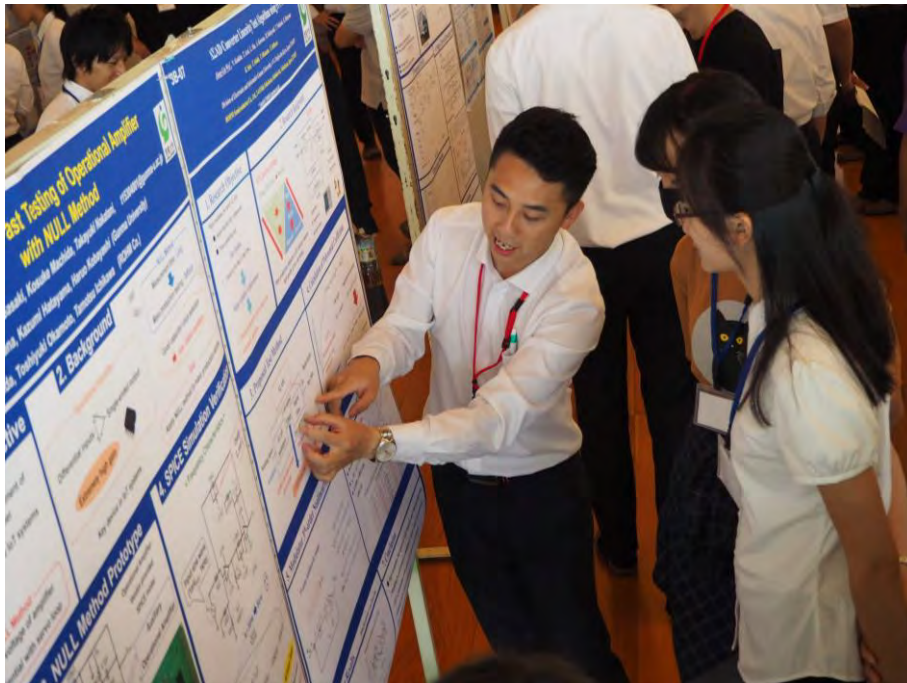


図.4 筆者のポスター発表

**謝辞：**

今回、TJCAS 2019に参加させていただいて国際会議の雰囲気を感じることができた。今回ポスター発表のため終始熱心なご指導を頂いた小林春夫教授に感謝の意を表す。またサポートをいただいた桑名先生、およびローム社と共同研究の成果を学会で発表させて頂いたことを深く感謝申し上げます。



図.5 レセプション会場とみんなで「朋友」を合唱







(a) Prof. Hao-Chiao Hong (NCTU)



(b) Dr. Koji Asami (Advantest Corp.)



(c) Mr. Atsushi Motozawa (Renesas Electronics)

図.6 全体会議セッション(a),(b),(c)

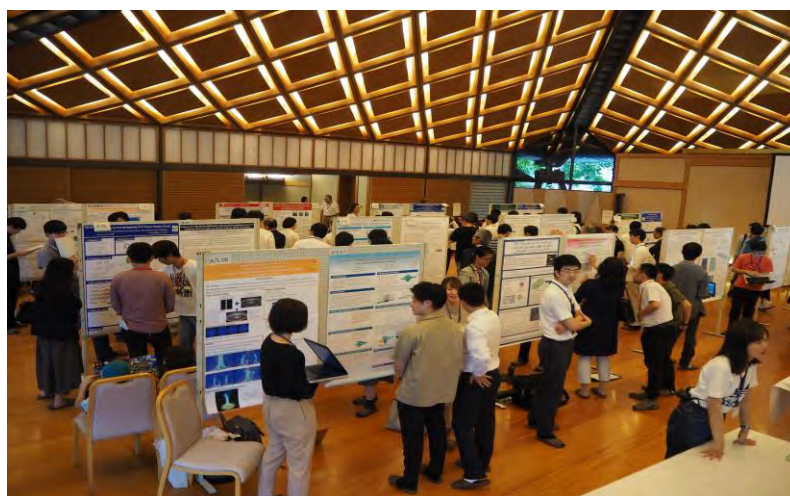


図.7 ポスターセッション会場

